

1986年結成。“ボザール”“フロロスタン”解散後
世界の第一線での活躍が著しい数少ない常設ピアノ・トリオ

プラハ・ゲアルネリ・トリオ

(ピアノ・トリオ)



Guarneri Trio Prague

チェネック・パブリーク(ヴァイオリン) / マレク・イエリエ(チェロ) / イヴァン・クラーンスキー(ピアノ)

日本公演実施期間＝結成35周年 日本ツアー 2021年11月20日～29日('20. 3月時点)

プラハ・ゲアルネリ・トリオは四半世紀に渡り、その成熟されたアーティスト性とその表現力でオーディエンスを魅了し続けてきている。

1986年に創設されたプラハ・ゲアルネリ・トリオは際立つトーン・クオリティ、そしてハイ・スタンダードな技術を兼ね備えた第一級の室内楽アンサンブルとして、3人の音楽家による、その非の打ちどころのない演奏は絶賛を博している。

特に近年の著しい円熟ぶりは国際的に更なる注目を集めており、目下世界でも数少ない常設ピアノ・トリオとして貴重な存在である。

プラハ・ゲアルネリ・トリオは数々の国際音楽祭、著名なコンサートホールでの演奏活動、さらにはヨーロッパ各地をはじめカナダ、オーストラリア、アメリカ合衆国、南アメリカそして日本と広範囲に渡る規模のツアーもしばしばおこなっている。

レコーディングに関してはチェコのスプラフォン、フランスのプラガ・デジタルにおいて、ベートーヴェンのピアノ・トリオをはじめメンデルスゾーン、ショスタコーヴィチ、シューベルト、モーツァルト、ブラームスの作品を録音。またGTPよりリリースされたものは国際的な賞

(ディアパソン・ドール賞、ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージックなど)を度々獲得している。

プラハ・ゲアルネリ・トリオは結成当初のオリジナルメンバーにより構成されており、これは音楽家たちの豊かな人間性を証明するものであり、互いを思いやる彼等の深い友情がこれを維持している。

使用している楽器について、チェネック・パブリークはルイジ・タリシオの有名なコレクションであるゲアルネリ・デル・ジュスの1735年製“ジンバリスト”を使用しており、また一方マレク・イエリエはアンドレア・ゲアルネリ1684年製のチェロを使用している。

2011/12年シーズンにおいてプラハ・ゲアルネリ・トリオは世界中で数多く行われた演奏会で結成25周年を祝う事になった。

プラハ・ゲアルネリ・トリオは放送への出演も多く、英国BBC、ラジオ・フランス、オーストリアORF、スイスDRS2、ドイツNDRそしてSWR、チェコ・ラジオのために録音を行うほか、1996年にはチェコ・テレビジョンによりプラハ・ゲアルネリ・トリオを特集する番組が放映されている。

お問い合わせ / コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL ▶ <http://www.kojimacm.com> E-mail ▶ kojimacm@ops.dti.ne.jp